

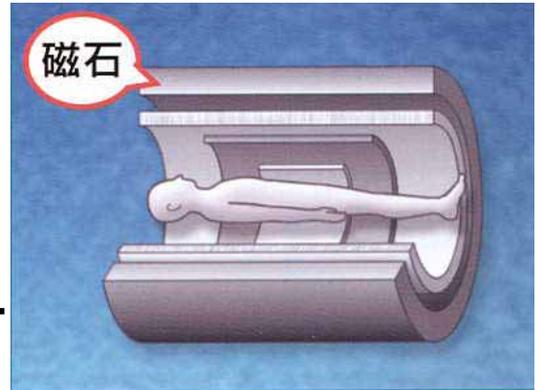
# MRI 検査を

## お受けになる患者さんへ

MRI 検査を安心して受けていただくために、検査の仕組みと手順についてご説明します。

### MRI検査とは・・・

MRI 検査とは**磁石**が埋め込まれたトンネルの中に体を入れて、磁石と電波の力、そしてコンピューターによって体の中を見る検査です。



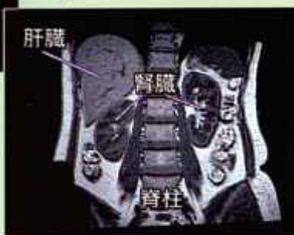
**使用する磁気や電波は、無害で、体に感じるものではありません。**

検査による痛みはありません。  
X線被ばくは全くありません。  
患者さん自身の体の位置を変えなくても、あらゆる角度から、体の中の様子を見ることができます。

#### ▼お腹の中のMRI写真



別の角度からみたMRI写真



**次のような方は、必ずスタッフに申し出てください。**

**以下の方は検査を受けることができません。**

心臓ペースメーカーを装着している方

**以下の方は、検査を受けられないことがあります。**

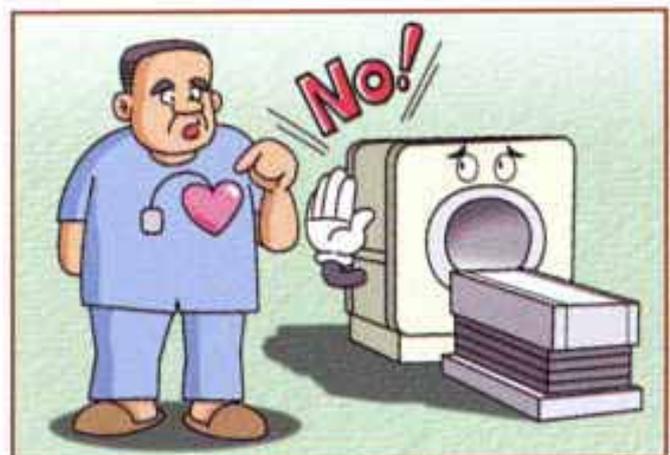
金属製の心臓人工弁を入れてある方

脳動脈瘤の手術により、金属クリップを入れている方

人工関節などの金属類を体内に埋め込まれている方  
閉所恐怖症の方

じっとしていることが困難な方 (小児など)

妊娠中、または妊娠している可能性のある方



### （ 検査を受ける際 ）

金属のついている服を脱いで、検査着に着替えていただきます。



身につけている金属類はすべて外してください。  
また、コンタクトレンズ・エレキバン・カイロ・カード類も持ち込まないでください。

ロッカーの鍵は、安全のため技師の目の届く場所に掛けていただいております。お預かりした物については、責任を持って管理していますが、診療に必要なない貴重品などはできるだけお持ちにならないようお願いいたします。  
なお、ご心配な場合は、ご家族等にお預けいただくか、検査前に技師にご相談ください。

### （ 検査のご説明 ）

検査室に入る前に、金属を身につけていないかどうか再度確認させていただきます。



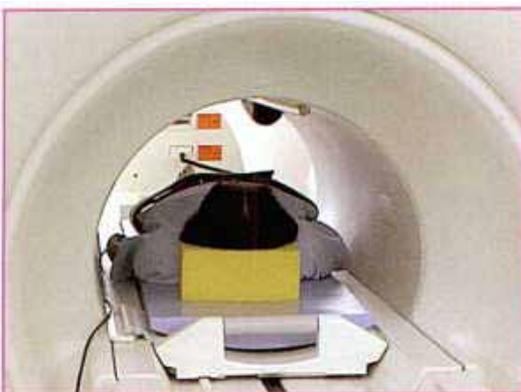
検査用のベッドに寝て撮像します。その時、体の位置がずれないように固定させていただきます。

検査中に異常を感じたときのために、連絡プザーを持っておきます。異常を感じたり具合が悪くなった時には、遠慮なくプザーでお知らせください。

検査時間は30分から1時間程度ですが、検査の内容によっては、それ以上かかる場合もあります。

### （ 検査を始めます ）

検査が始まると装置から「ガーッ」という大きな音がしますが、検査の音ですから心配しないでください。



検査する部分が胸やお腹の場合には、何回かに分けて少し息を止めていただく場合があります。できない方は、スタッフに申し出てください。

検査の内容によっては、造影剤という薬剤を静脈内に注射して撮像する場合があります。造影剤については、担当医から説明をお聞きください。

検査終了後、安静などの必要はありません。

食事・入浴など、日常生活は普段どおりで結構です。

検査の結果は、専門医が診断します。

結果の説明は、主治医の先生がします。